

(ア) 梗概

受講形式	講義名
講義	社会保障制度概論
	茨城県保健医療介護福祉施策総論
	地域リハビリテーション総論
講義演習	医療面接論
	社会人基礎力概論
	療養担当規則論
	多職種連携
	生涯学習概論
	自己管理論
	障害構造論
	排泄ケア・リハ論
	一次救命処置論
実技	感染対策・医療安全
	福祉用具・義肢装具概論
	喀痰吸引・口腔ケア概論
eラーニング（必須）	医療倫理
	業務法
	在宅ケア概論
	看取り期・終末期リハ論
	コミュニケーション障害論
	リハ栄養概論
	リハ画像・検査学概論
	リハ薬学概論
	小児リハ概論
	評価学総論
	臨床運動療法概論

受講形式	講義名
eラーニング (選択5コマ)	疾患別・臓器別リハ概論（加齢）
	疾患別・臓器別リハ概論（がん）
	疾患別・臓器別リハ概論（股関節疾患）
	疾患別・臓器別リハ概論（脳・高次脳機能）
	疾患別・臓器別リハ概論（脊椎・脊髄）
	疾患別・臓器別リハ概論（心臓）
	疾患別・臓器別リハ概論（呼吸）
	疾患別・臓器別リハ概論（代謝）
	疾患別・臓器別リハ概論（小児）
	疾患別・臓器別リハ概論（神経難病）
	疾患別・臓器別リハ概論（認知症）
	疾患別・臓器別リハ概論（咀嚼摂食嚥下）
病期別等見学研修 (選択10コマ)	特別支援学校
	訪問看護ステーション
	診療所
	精神科病棟
	地域包括支援センター
	保健所・保健センター
	緩和ケア病棟
	障害者施設
	訪問リハビリテーション
	通所リハビリテーション
	介護老人保健施設
	介護老人福祉施設
療養病棟	
回復期リハビリテーション病棟	
急性期病棟	
高度急性期病棟	

講義名	社会保障制度概論	受講形式	講義
講師名	鈴木 邦彦（医師）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
社会保障制度とリハビリテーションに関する各種法制度を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度について概説する。 ・医療法、介護保険法、障害福祉制度、生活保護、難病医療、障害者年金、児童福祉医療、福祉六法などから、診療・介護・障害報酬制度を概説する。 			
キーワード			
社会保障制度、医療法、介護保険法、障害福祉制度、生活保護、難病医療、障害者年金			

講義名	茨城県保健医療介護福祉施策総論	受講形式	講義
講師名	(行政職)	時間(分)	60
行動目標・理念			
茨城県型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
茨城県の保健医療介護福祉施策の概要とリハビリテーションとの関連を理解できるようになる。			
概要			
茨城県の各種施策や計画、茨城県型地域包括ケアシステム、地域リハビリテーション支援体制（小児、訪問の会など含む）、地域ケアシステムの意味と内容・役割を概説する。			
キーワード			
保健医療介護福祉施策、茨城県型地域包括ケアシステム、地域リハビリテーション支援体制			

講義名	地域リハビリテーション総論	受講形式	講義
講師名	大田 仁史（医師）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
地域リハビリテーションの本質、フォーマル資源とインフォーマル資源などの位置づけを理解できるようになる。			
概要			
地域リハビリテーションの総論・本質を学習し、県・市町村、保健所・保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会等などの行政組織とフォーマル資源（急性期～終末期）とインフォーマル資源（民生委員、シルバーリハビリ体操指導士、当事者団体等）を概説する。			
キーワード			
地域リハビリテーション、地域包括支援センター、フォーマル資源、インフォーマル資源			

講義名	医療面接論	受講形式	講義演習
講師名	前野 哲博（医師）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
患者のナラティブや真のニーズを引き出し、主たる課題を推論でき、好ましい関係性の構築、ならびに治療等への動機づけになることを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション専門職として必要な接遇と医療面接の違いと重要性を概説する。 ・一般的なコミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を概説し、実践においてコミュニケーションを通じて良好な人間関係を築き、患者・家族の話を傾聴し、人々の相互の関係を成立・発展させることを概説する。 ・患者とリハビリテーション専門職の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を習得すること、動機づけとなる医療面接の実際を概説する。 ・具体的な技能として、患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮すること、患者に分かりやすい言葉で説明すること、患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理すること、リハビリテーション専門職による行為が患者とリハビリテーション専門職の契約的な信頼関係に基づいていること、患者の様々な要望への対処の仕方、患者のプライバシーへの配慮、患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性と適切な取扱いの必要性と実践を概説する。 			
キーワード			
患者のナラティブ、患者の真のニーズ、接遇、人間関係、プライバシー保護、守秘義務			

講義名	社会人基礎力概論	受講形式	講義演習
講師名	峯岸 忍（理学療法士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
一社会人としての常識、医療人としての常識や一般的なふるまいがリハビリテーション専門職の臨床技能であることを理解できるようになる			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・組織・職場・患者との人間関係を学び、一社会人としての常識（TPO、報連相、公私の区別、情報管理など）、医療人としての常識および一般的なふるまい（身だしなみ、挨拶、多職種協働・チーム医療など）が技能であることを概説する。 ・人間関係から生ずる労働衛生上のストレスマネジメント、各種ハラスメントについて学び、その予防・解消法を概説する。 			
キーワード			
社会人基礎力、報連相、身だしなみ、挨拶、多職種協働、ストレスマネジメント、ハラスメント			

講義名	療養担当規則論	受講形式	講義演習
講師名	金森 毅繁（理学療法士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
診療報酬請求の仕組みや診療録記載が重要かつ必要なことを理解できるようになる。			
概要（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・療養担当規則から、診療報酬請求の仕組みや診療録記載が重要かつ必要なことを概説する。 ・SOAP等を用いた診療録記載の実際を概説・演習する。さらに、退院・転院・終了時の症例要約および退院・転院時あるいは施設間情報連絡の重要性と活用方法を概説・演習する。 			
キーワード（案）			
診療報酬、診療情報、診療録記載、SOAP、症例要約、施設間情報連絡			

講義名	多職種連携	受講形式	講義演習
講師名	木村 洋輔（医師）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
多職種の役割と協働を理解できるようになる。また、一般的な会議及び地域ケア会議の進め方や医療におけるカンファレンスの種類と目的、参加時のマナーや役割、プレゼンの方法を理解できるようになる。			
概要（案）			
多職種の役割を踏まえた、一般的な会議の進め方や医療におけるカンファレンスの種類と目的を概説するとともに、参加時のマナーや役割、プレゼンテーションの方法を概説する。地域ケア会議についても同様に概説する。			
キーワード（案）			
多職種連携、地域ケア会議、医療カンファレンス、マナーや役割、プレゼンテーション			

講義名	生涯学習概論	受講形式	講義演習
講師名	斉藤 秀之（理学療法士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
生涯学習の意味を理解し、自己のキャリア形成とジェネラリズムが基盤となりそのうえに専門性が成り立っていることを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の意味と必要性、自己のキャリア形成とジェネラリズムが基盤となりそのうえに専門性が成り立っていることを概説する。 ・キャリアデザインの定義と意味を概説し、リハビリテーション専門職としての自らのキャリアラダーを概説する。 ・当該プログラムの意義と目的を概説し、職能団体の生涯学習制度との違いと関係を概説する。 			
キーワード			
生涯学習、自己のキャリア形成、ジェネラリズム、キャリアデザイン、キャリアラダー			

講義名	自己管理論	受講形式	講義演習
講師名	鈴木 智也（理学療法士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
管理の基盤である自己管理が重要な臨床技能であることを理解できるようになる。			
概要（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理が管理の基盤でもあり、管理の中で最も重要なことを概説する。 ・健康管理、ストレス管理、ハラスメント管理、対人管理などを概説する。 ・リハビリテーション専門職が治療を実践する上で必要な情報を適切に管理する方法を概説する。 ・守秘義務、個人情報管理、情報漏えいリスクヘッジなどが技能であることを概説する。 			
キーワード（案）			
自己管理、健康管理、ストレス管理、ハラスメント管理、対人管理、守秘義務、個人情報			

講義名	障害構造論	受講形式	講義演習
講師名	浅川 育世（理学療法士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
障害構造論、ADL障害、QOLについて理解できるようになる。			
概要（案）			
ICIDH・ICFの概念とFIM、Barthal Index、各種QOLの評価・療法への活用について概説・演習する。			
キーワード（案）			
ICIDH、ICF、FIM、Barthal Index、各種QOL評価			

講義名	排泄ケア・リハ論	受講形式	講義演習
講師名	森 久紀（介護福祉士）	時間（分）	90
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
排泄と排泄ケアの意味を理解し、排泄介助、オムツ交換の技術を理解し経験するとともに、排泄自立に効果的な臨床技能を理解できるようになる。			
概要（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄と排泄ケアについて概説する。 ・排泄介助、オムツ交換の技術を理解し、実際にできるように実習する。 ・介助・介護される側/介助・介護する側の視点から排泄動作に必要な身体機能、環境設定について概説する。 			
キーワード（案）			
排泄、排泄ケア、排泄動作、排泄介助、オムツ交換、環境設定、動作指導、福祉用具			

講義名	一次救命処置論	受講形式	実技
講師名	縄井 清志（理学療法士）	時間（分）	120
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
各種急変時対応のABC、AED操作と人工呼吸、心臓マッサージを理解し経験する。			
概要（案）			
一次救命処置の概念と法的概念、心肺蘇生法（CPR）の実際、自動体外式除細動器（AED）の操作方法を概説し、CPRとAEDを組み合わせた一次救命処置を実習する。			
キーワード（案）			
一次救命処置、急変時対応、心肺蘇生法（CPR）、自動体外式除細動器（AED）			

講義名	感染対策・医療安全	受講形式	実技習得
講師名	大場 耕一（作業療法士） 長谷川 大悟（理学療法士）	時間（分）	120
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
医療人としての医療安全に関する法律およびその意義と必要性を理解できるようになる。			
概要（案）			
<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント・アクシデントの記録・報告の意味とその活用、リハビリテーション専門職における医療安全の背景、必要な安全管理とKYTなど研修について概説し実習する。 ・呼吸循環監視を含めたバイタルサインの取り方、移動操作、ラインの種類と管理、転倒リスクへの対応準備や一時的に場所を離れる時の安全管理や連携などの注意義務などを概説・実習する。 ・スタンダードプリコーションの実際について学習し、リハビリテーション専門職における感染管理の実際を概説し、手洗いも含め実習する。 ・リハビリテーション専門職の治療実践において、医療安全管理と過用・誤用および廃用の関係性を学び、リハビリテーション専門職が安全かつ健康被害を誘引しない臨床実践であることを概説する。 			
キーワード（案）			
インシデント・アクシデント、医療安全、KYT、スタンダードプリコーション、感染対策、手洗い			

講義名	福祉用具・義肢装具概論	受講形式	実技習得
講師名	伊佐地 隆（医師）	時間（分）	120
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
福祉用具・義肢装具の基本的な使い方、適応を学ぶと共に、その適用判定や制度利用の方法を理解できるようにする。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン概念と法制度と実践での活用を概説する。 ・住環境（生活環境）の課題を把握する評価と対策を法体系、ADL・IADLを支援するための実践での活用を概説する。 ・義肢装具の種類、適応、適合性の確認、アライメント調整の実践を法体系、ADL・IADLを支援するための実践での活用を概説する。 ・車いすの種類、適用、調整（車いす用クッションを含む）の実践を法体系、実践での活用を概説する。 			
キーワード			
バリアフリー、ユニバーサルデザイン、住環境、義肢装具、車いす			

講義名	喀痰吸引・口腔ケア概論	受講形式	実技習得
講師名	本村 美和（看護師）	時間（分）	120
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
口腔ケアおよび喀痰吸引の意義と実際を理解・経験し、臨床の場面において必要性を考えることができる。 義歯の構造と脱装着を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・喀痰吸引について、事前準備（擦式消毒法、手袋の着脱）、前後の評価、リスク管理について概説する。 ・口腔衛生管理として必要な口腔ケアについて、目的、効果、評価について概説する。 ・口腔ケア（義歯取り扱い）および喀痰吸引について理解・体験し、臨床の場において看護師等と連携することができる。 			
キーワード			
喀痰吸引、口腔ケア、義歯の役割と着脱			

講義名	医療倫理	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	斉藤 秀之	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
生命倫理、医療倫理、臨床倫理などがリハビリテーション専門職の重要な臨床技能であることを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉分野で働く職業人としての高い倫理観を概説する。 ・生命倫理、医療倫理、臨床倫理、リハビリテーション専門職の倫理、職能団体の倫理を説明し、受講者本位、利他主義、責任、敬意、誠実、生涯学習などが身につけるべき重要なコンペテンシー・臨床技能であることを概説する。 			
キーワード			
生命倫理、医療倫理、臨床倫理、職能団体の倫理、倫理観、受講者本位、生涯学習			

講義名	業務法	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	仙波 浩幸（日本保健医療大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
保健・医療の法制度、法律の概要を知る。			
医師法、保健師助産師看護師法、理学療法士及び作業療法士法、言語聴覚士法の法的関係を理解する。			
医行為、診療の補助行為、理学療法、作業療法、嚥下訓練の法的意味と関係を理解する。			
業務の現状と法律の乖離について理解する			
概要			
・リハビリテーション専門職による治療行為を実践する上で必要な法律について概説する。			
キーワード			
医師の指示、医行為、診療の補助行為、理学療法、作業療法、言語訓練、嚥下訓練、業務独占			

講義名	在宅ケア概論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	荒井 康之（生きいき診療所・ゆうき）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
医療機関等施設におけるリハビリテーションとの違い、在宅医療の特性、訪問リハ専門職が身に付けておくべき視点を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療や訪問リハビリテーションの機能や役割、特色について概説する。 ・個に応じた地域包括ケアシステムの在り方について理解し、医療・介護・福祉・予防における生活支援を目的とした多職種連携について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容（心身の機能維持・回復、日常生活の自立を支援するための理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーション、介護する家族への動作指導、助言、相談、福祉用具の活用方法、住宅改修のアドバイス等）について概説する。 ・在宅医療の実際から、現状課題、心理について概説する。 			
キーワード			
在宅医療、訪問リハビリテーション、多職種協働、生活支援、介護する家族への動作指導・相談			

講義名	看取り期・終末期リハ論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	荒井 康之（生きいき診療所・ゆうき） 高野 哲也（訪問看護ステーションふれあい）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
ヒトを看取るということ、生命の尊厳、家族心理、急変時対応や死亡診断の流れを学ぶと共に、看取りの臨床技能および終末期リハの技能などを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・看取りや終末期ケアの特徴について概説する。 ・生命の尊厳、家族心理、急変時の対応や死亡診断の流れについて概説する。 ・日本人の死生観、スピリチュアルケア、意思決定、倫理的課題について概説する。 ・終末期リハの必要性とその実際について概説する。 			
キーワード			
看取り、終末期ケア、生命の尊厳、家族心理、終末期リハ、QOLとQOD			

講義名	コミュニケーション障害論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	稲川 良（水戸メディカルカレッジ） 岡崎 宏（水戸メディカルカレッジ）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに影響を及ぼす諸障害（失語症、構音障害、聴覚障害）の特徴について理解できるようになる。 ・各障害の特性に配慮したコミュニケーション上の留意点について理解できるようになる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・臨床家が日常業務において相対する種々のコミュニケーション障害について概観することで、対象者の支援全般におけるコミュニケーション障害への適切な対応の重要性について概説する。 ・代表的な言語障害である失語症、構音障害、及び言語発達上の諸障害（聴覚障害）について、その発生機序及び代表的な症状を概説し、コミュニケーション場面における配慮や活用可能な代替手段について基本的事項を概説する。 ・聴覚障害においては補聴器の装用や聴覚リハについても概説する。 			
キーワード			
コミュニケーション障害、失語症、構音障害、聴覚障害・難聴、補聴器の聴覚リハビリテーション			

講義名	リハ栄養概論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	武 敏子（つくば国際大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
各療法を実施する上で栄養の意味と各療法との関係を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・栄養の定義および栄養の評価方法を理解し、栄養状態を確認できる基本的な検査測定および形態測定を概説する。 ・患者の置かれている栄養状態の現状、とりわけ低栄養ならびに栄養強化療法に基づいた運動療法について実際の活用を概説する。 ・リハビリテーション栄養の概念を理解し、リハビリテーション専門職による治療への活用を概説する。 ・嚥下障害と栄養状態の関係や影響と臨床において留意事項を概説する。 			
キーワード			
リハビリテーション栄養、適正エネルギー、低栄養、アセスメント、高齢者			

講義名	リハ画像・検査学	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	藤野 雄次（順天堂大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
レントゲン画像、CT、MRI画像、心エコー画像、心電図波形などの結果を正しく理解し、リハビリテーション専門職の治療上の留意点、特に運動・活動に際する影響と身体機能の状態を臨床推論できることを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・脳画像については、身体機能や認知・高次脳機能の予後に関する臨床推論を概説する。 ・胸部X線所見や心エコー所見、心電図所見等の結果から、起こりうるリスクを検証し、必要となる評価の選定について概説する。 			
キーワード			
画像と予後予測、検査データとリスク、リハビリテーション時の留意点			

講義名	リハ薬学概論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	幸田 幸直（つくば国際大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
各療法を実施する上で必要な薬物の知識（加齢との関係性含む）を学び、各療法との関係を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・薬物の作用機序、投与方法、体内動態、副作用、薬害について概説する。 ・運動器系疾患に対する薬物療法、神経系疾患に対する薬物療法、呼吸・循環器・代謝系疾患に対する薬物療法、がん疾患に対する薬物療法、精神疾患に対する薬物療法の作用と副作用とリハビリテーション専門職の治療実践における留意点を概説する。 			
キーワード			
薬害、薬物療法			

講義名	小児リハ概論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	根本 哲廣 （愛正会記念 茨城福祉医療センター）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
3障害（発達・肢体・知的）の病態と障害像を学び、就学前・特別支援教育・卒業後のライフコースの実際を学び、療法士として対応できる実際を理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・小児に対するリハビリテーションについての機能や役割、特色について概説する。 ・リハビリテーション専門職に必要な、種々な小児疾患における徴候と基本的な病態の理解と対応法について、胎児期を中心に概説する。 ・各種疾患の特性と理学療法学、作業療法学、言語聴覚療法学との関係を説明し、具体的な対応を概説する。 			
キーワード			
小児期、胎児、疾患と障害、運動機能、認知発達、小児に対するリハビリテーション			

講義名	評価学総論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	斉藤 秀之	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
実施すべき共通および各療法あるいは病態特有の検査、評価バッテリーを理解できるようになる			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が持つ身体的機能面から全生活場面までをみて症状や障害を把握し、その回復の方策を探すことが「評価」の目的である。評価に基づいて治療を選択する重要性を理解する。 ・基礎的な検査・測定から評価、治療の流れについて理解し、評価および治療に必要となる基本的な検査・測定方法の意義を学習する。また、リハビリテーションの視点から患者の問題を考える指標となる障害モデルについて概説する。 			
キーワード			
バイタルサイン、機能評価、ADL・IADL 評価、QOL 評価、障害モデル			

講義名	臨床運動療法概論	受講形式	eラーニング（必須）
講師名	斉藤 秀之	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
運動および運動学習の基礎について学ぶとともに、根拠に基づく各療法の実践を理解できるようになる			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・人の身体の構造や機能、運動学の知識を踏まえ、疾病や外傷により生じる心身機能・身体の変化や活動の変化について概説する。 ・実際の運動を教材等で観察し、模倣しながら、障害のある対象者の運動特性を概説する。 			
キーワード			
生体力学、身体の構造と機能、運動、動作、行動、姿勢、歩行、運動学習			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（加齢）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	岡田恒夫（総合病院土浦協同病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
加齢に対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・老化のメカニズムや生理的特性について概説する。 ・加齢によって生じる身体機能的変化、心理的变化、特徴的な障害や病態を概説する。 ・高齢者リハで注意すべき疾病や病態について概説する。 			
キーワード			
老年症候群、運動機能の加齢変化、高齢者リハのリスク管理			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（がん）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	鈴木 聖一（茨城県立中央病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
がんに対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・がんについて概説する。 ・がんリハについて概説する。 ・がんに対するリハビリテーションの目的と内容等について概説する。 			
キーワード			
がん、がんリハの分類、周術期リハ、PS（パフォーマンスステータス）がん患者リハビリテーション料、がん悪液質			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（股関節疾患）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	平澤 直之（北水会記念病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
整形外科領域（股関節疾患）に対するリハビリテーションを理解できるようになる			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに必要な股関節に関する基礎知識を概説する。 ・股関節疾患に対する評価、治療について概説する。 ・人工骨頭置換術後の禁忌肢位や生活指導について概説する。 			
キーワード			
股関節疾患の病態、寛骨臼形成不全、FAZ、人工関節全置換			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（脳・高次脳機能）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	河野 豊（茨城県立医療大学付属病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害の定義・診断基準について理解を深め、「見えない障害」について説明できるようになる。 ・高次脳機能障害を具体的な症状を理解し、「神経心理ピラミッド」という概念で説明できるようになる。 ・びまん性軸索損傷の病態と診断の難しさについて理解できるようになる。 ・高次脳機能障害に対するリハビリテーションや支援の原則を理解し、その問題点を説明できるようになる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・「高次脳機能障害」の定義には学術的もののほか、行政的なものがある。本稿では、行政的な定義が作られた背景を厚生労働省が行った支援モデル事業の内容を交えて概説する。高次脳機能障害は「見えない障害」ともいわれおり、当事者の悩み、家族や職場でも問題点、診断の難しさなどを解説する。 ・高次脳機能障害は脳の器質的障害によって生じ、その主要な原因に外傷性脳損傷がある。外傷性脳損傷では、びまん性軸索損傷を合併することがある。びまん性軸索損傷による高次脳機能障害はいわゆる巣症状を示しにくく、症状が多彩で、かつ画像検査で明確な所見を呈さず、看過されていることもある。本講義ではびまん性軸索損傷の病態や注意点などを解説する。 ・高次脳機能障害に対するリハビリテーションは、認知リハビリテーションの原則や手法が応用されている。しかし、必ずしもうまくいくとは限らず、当事者や家族の焦り、治療者の孤独化などを招いてしまう。厚生労働省がモデル事業に引き続き行った支援普及事業によって、各都道府県に支援センターが設置され、支援コーディネーターが配属された。茨城県においても支援センターが設置され、支援コーディネーターが活躍している。県のセンターやコーディネーターを活用した地域での支援システム構築のヒントを説明する。 			
キーワード			
高次脳機能障害、高次脳機能障害支援モデル事業、診断基準、見えない障害、注意障害、記憶障害、遂行機能障害、社会的行動障害、意欲の障害、神経心理ピラミッド、びまん性軸索損傷、茨城県高次脳機能障害支援センター、高次脳機能障害支援コーディネーター			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（脊椎・脊髄）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	清水 如代（筑波大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
脊椎・脊髄に対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションに必要な脊椎・脊髄の機能や構造等の基礎的な知識について概説する。 ・脊髄損傷に対する評価、治療について概説する。 ・脊髄損傷者に利用する代表的な社会制度と、利用の具体例を概説する（車いす作製、自動車の改造、住環境の調整等）。 			
キーワード			
脊髄損傷、ASIA、障害者スポーツ			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（心臓）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	渡辺 重行（筑波大学附属病院水戸 地域医療教育センター・水戸協同病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・循環器疾患の病態や評価、治療方針を理解できるようになる。 ・循環器疾患を有した人へ、安全なリハビリテーションを実施できる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・循環器疾患を有する人へ、安全な理学療法、作業療法あるいは言語聴覚療法を実施することができるように、対応方法や導入方法などを概説する。 ・理学療法、作業療法あるいは言語聴覚療法を実施するにあたり、心不全についての病態、評価から治療方針までの考え方を概説する。 ・運動耐用能について生理学的に概説する。 			
キーワード			
心臓リハビリテーション、心不全、運動耐用能、運動療法、Borg Scale			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（呼吸）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	大瀬 寛高（茨城県立医療大学付属病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器疾患の病態や評価、治療方針を理解できるようになる。 ・呼吸器疾患を有した人へ、安全なリハビリテーションを実施できる。 ・呼吸器疾患を有する人への呼吸療法について、概念や実施方法について理解できるようになる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法、作業療法あるいは言語聴覚療法を実施するにあたり、COPD、慢性呼吸不全についての病態、評価から治療方針までの考え方を概説する。 ・呼吸器疾患に対する呼吸療法の方法について概説する。 ・人工呼吸器について概説する。 			
キーワード			
呼吸リハビリテーション、COPD、慢性呼吸不全、酸素療法、人工呼吸療法			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（代謝）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	山崎 勝也（川井クリニック）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・代謝系疾患の病態や評価、治療方針を理解できるようになる。 ・代謝系疾患を有した人へ、安全なリハビリテーションを実施できる。 ・代謝系疾患を有する人への日常生活における支援及び管理について理解できるようになる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・理学療法、作業療法あるいは言語聴覚療法を実施するにあたり、糖尿病についての病態、評価から治療方針までの考え方を概説する。 ・糖尿病に対する、活動量の考え方について概説する。 			
キーワード			
糖尿病、糖尿病性合併症・治療			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（小児）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	岩崎 信明（茨城県立医療大学付属病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
小児に対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・小児の正常発達について概説する。 ・リハビリテーションの適応となる障害・疾患について概説する。 ・小児のリハビリテーションの目的と内容について概説する。 			
キーワード			
学校との連携、地域支援、他職種協働、脳性麻痺、GMFM、GMFCS			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（神経難病）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	上野 友之（筑波大学）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
神経難病に対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・神経難病のとらえ方を概説する。 ・ALSの概要、症状、対応や予後について概説する。 ・ALS患者におけるリハビリテーションの考え方を概説する。 			
キーワード			
疾患整理、ALS、呼吸管理、コミュニケーションツール			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（認知症）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	塚原 靖二（土浦厚生病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
認知症に対するリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の種類、症状を概説する。 ・認知症に用いる評価法を概説する。 ・認知症に用いるアプローチ法を概説する。 ・当事者家族への支援について概説する。 			
キーワード			
社会資源、環境整備、家族支援			

講義名	疾患別・臓器別リハ概論（咀嚼摂食嚥下）	受講形式	eラーニング（選択5コマ）
講師名	石本 立（志村大宮病院） 大仲功一（志村大宮病院）	時間（分）	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤（ジェネラリストマインド）を獲得する			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・摂食嚥下障害の定義及び基本的用語について理解できるようになる。 ・摂食嚥下のメカニズム及びその障害機序について基礎的事項を理解できるようになる。 ・摂食嚥下障害により生じる二次的不利とその症候について理解できるようになる。 ・摂食嚥下障害者支援における基本的な留意点について理解できるようになる。 			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な留意点（例えば、食事の姿勢など）について概説できる。 ・摂食嚥下障害についての基礎知識を整理し、摂食嚥下障害を有する対象者のリハビリテーション支援を行う上で配慮すべき事項及び具体的対応を概説する。 ・摂食嚥下関連器官の解剖生理、摂食嚥下運動の代表的概念（5期モデル）、障害メカニズム及び主な原因（脳血管障害、神経疾患、器質的損傷、加齢性変化、認知症）について総論的に概説する、併せて摂食嚥下障害分野における基本的な専門用語を概説する。 ・摂食嚥下障害の結果生じる有害事象（窒息、誤嚥性肺炎、低栄養）について概説する。更にそれらの予防及び早期発見を可能とするための基本的な着眼点（バイタルデータ、臨床観察上の留意点 他）について概説する。 			
キーワード			
摂食嚥下障害、誤嚥、5期モデル、嚥下リハビリテーション、食支援			

講義名	特別支援学校	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、特別支援学校のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校の役割について概説する。 ・教育目標に加え、知的障害教育部門、肢体不自由教育部門などのクラス分けについて概説する。 ・具体的にどのような教育を目指して取り組んでいるか等 (教育的ニーズに応じた指導・支援の充実、健康で安全・安心な教育環境の整備、自立と社会参加に向けた教育の充実、家族・地域との確かな信頼関係の構築) を概説する。 			
キーワード			
特別支援学校、知的障害、肢体不自由、教育環境、自立と社会参加、家族・地域関係			

講義名	訪問看護ステーション	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、訪問看護ステーションのリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護の役割やサービスの内容等について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (医療機器の管理、家族支援、日常生活の支援、医師の指示による医療処置、継続した在宅生活) について概説する。 			
キーワード			
訪問看護、医療機器の管理、家族支援、日常生活の支援、医療処置、在宅生活			

講義名	診療所	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また診療所のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・診療所の役割について概説する。 ・総合診療医およびかかりつけ医の役割について概説する。 ・プライマリケアの役割、地域包括診療料等について概説する。 			
キーワード			
診療所、総合診療医、かかりつけ医、プライマリケア、地域包括診療料			

講義名	精神科病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、精神科病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・認知症や統合失調症患者に対する身体的介助、看護、ケアについて概説する。 ・アルコール依存症やその他精神疾患患者に対する薬物治療、依存症から回復するための看護・援助について概説する。 			
キーワード			
精神科病棟、認知症、統合失調症、アルコール依存症、精神疾患、必要な援助や看護			

講義名	地域包括支援センター	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、地域包括支援センターのリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの機能や役割、業務内容について概説する。 ・地域にある様々な社会資源について概説する。 ・住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう高齢者の生活を総合的に支えていく仕組みや重要性について概説する。 ・社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員等の専門性や役割について概説する。 			
キーワード			
地域包括支援センター、社会資源、社会福祉士、保健師、主任介護支援専門員			

講義名	保健所・保健センター	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、保健所・保健センターのリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・保健所と保健センターの機能や役割、業務内容について概説する。 ・提供される具体的な業務 (動物愛護・狂犬病予防、母子保健、精神保健福祉、感染症予防等) について概説する。 ・「健康づくり」に対する業務 (健康教室、成人検診、リハビリ教室、健康教育等) について概説する。 			
キーワード			
保健所、保健センター、母子保健、精神保健福祉、感染予防、健康づくり、健康教室			

講義名	緩和ケア病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、緩和ケア病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的な緩和ケア (疼痛やつらい症状の軽減、こころのケア、日常生活のサポート、家族のケア等) について概説する。 ・入院での緩和ケア、通院での緩和ケア、在宅での緩和ケアについて概説する。 			
キーワード			
緩和ケア病棟、疼痛の軽減、こころのケア、日常生活のサポート、家族のケア			

講義名	障害者施設	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、障害者施設のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (入所、ショートステイ、生活介護事業で実施する入浴、排泄、食事等の介護、活動機会の提供、日常生活上の相談、助言、支援、身体機能の向上に対する支援等) について概説する。 			
キーワード			
障害者施設、入所、ショートステイ、生活介護事業、日常生活・身体機能に対する支援			

講義名	訪問リハビリテーション	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。また、訪問リハビリテーションのリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・訪問リハビリテーションの機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (心身の機能維持・回復、日常生活の自立を支援するための理学療法士、作業療法士、言語聴覚士によるリハビリテーション、介護する家族への動作指導、助言、相談、福祉用具の活用方法、住宅改修のアドバイス等) について概説する。 			
キーワード			
訪問リハビリテーション、機能練習・日常生活動作の支援、福祉用具、住宅改修			

講義名	通所リハビリテーション	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。通所リハビリテーションのリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーションの機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによる機能の維持回復練習や日常生活動作練習、集団での体操やレクリエーション、動作指導、助言、福祉用具の活用方法、活動時間の提供等) について概説する。 			
キーワード			
通所リハビリテーション、機能練習・日常生活動作の支援、集団体操、活動時間の提供			

講義名	介護老人保健施設	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。介護老人保健施設のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人保健施設の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (入浴、排泄、食事、更衣等の生活の中での動作に対するリハビリテーション、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによるリハビリテーション) について概説する。 			
キーワード			
介護老人保健施設、介護保険、要介護者、継続した在宅生活、リハビリテーション			

講義名	介護老人福祉施設	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。介護老人福祉施設のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的なサービスの内容 (入浴、排泄、食事、更衣等の介護その他日常生活の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話) について概説する。 ・ユニットケア (個別ケアを実現するための手法)、受講者一人ひとりの個性や生活のリズムを尊重したケアについて概説する。 ・ハード面 (個室と共同生活空間) やソフト面 (ユニットごとの手厚い職員配置などにより介護を行う) での取り組みについて概説する。 			
キーワード			
介護老人福祉施設、日常生活の世話、機能訓練、健康管理、療養上の世話、ユニットケア			

講義名	療養病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。療養病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・療養病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的な医療サービスの内容 (医療処置や入浴、排泄、食事、更衣等の日常生活動作に対するリハビリテーション、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによるリハビリテーション、介護度に合わせた身体介助等) について概説する。 ・医療療養病床、介護療養病床の入院の目的、条件、入院期間の目安、年齢制限等について概説する。 			
キーワード			
療養病棟、医療療養病床、介護療養病床、医療処置、生活期のリハビリテーション			

講義名	回復期リハビリテーション病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。回復期リハビリテーション病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・回復期リハビリテーション病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・提供される具体的な医療サービスの内容 (理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによる集中的なリハビリテーション・日常生活動作練習、家族指導、住宅改修、在宅復帰の実現等) について概説する。 ・回復期リハビリテーション病棟入院料を算定可能な疾患、発症からの入院までの期間、病棟に入院できる期間について概説する。 			
キーワード			
回復期リハビリテーション病棟、集中的なリハビリテーション、住宅改修、在宅復帰			

講義名	急性期病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。急性期病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・急性期病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・対象となる患者 (急性増悪を含む発症後間もない患者又は病状が不安定な患者) について概説する。 ・提供される具体的な医療サービスの内容 (充実した専門スタッフの下で一定期間の集中的な医療の提供) について概説する。 ・急性期リハビリテーションを実施する上でのリスク管理 (全身管理、点滴・ドレーン類などの管理等) について概説する。 			
キーワード			
急性期病棟、急性期リハビリテーション、急性増悪、リスク管理、全身管理			

講義名	高度急性期病棟	受講形式	病期別等見学研修 (選択10コマ)
講師名		時間 (分)	60
行動目標・理念			
茨城型地域包括ケアシステムに寄与できるリハビリテーション専門職の基盤 (ジェネラリストマインド) を獲得する			
到達目標			
急性期、回復期、維持期、終末期、介護期におけるリハビリテーションを理解できるようになる。高度急性期病棟のリハビリテーションを理解できるようになる。			
概要			
<ul style="list-style-type: none"> ・高度急性期病棟の機能や役割、特色について概説する。 ・対象となる患者 (急性増悪を含む発症後間もない患者又は病状が不安定な患者) について概説する。 ・提供される具体的な医療サービスの内容 (充実した専門スタッフの下で一定期間の集中的な医療の提供) について概説する。 ・高度急性期リハビリテーションを実施する上でのリスク管理 (全身管理、点滴・ドレーン類に加え、人工呼吸器などの管理等) について概説する。 			
キーワード			
高度急性期病棟、高度急性期リハビリテーション、リスク管理、全身管理、人工呼吸器			

